

# シリアル トンネリング ( STUN ) のコンプレックス マルチポイント

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、シリアル トンネリング ( STUN ) コンプレックス マルチポイントの設定例を紹介합니다。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

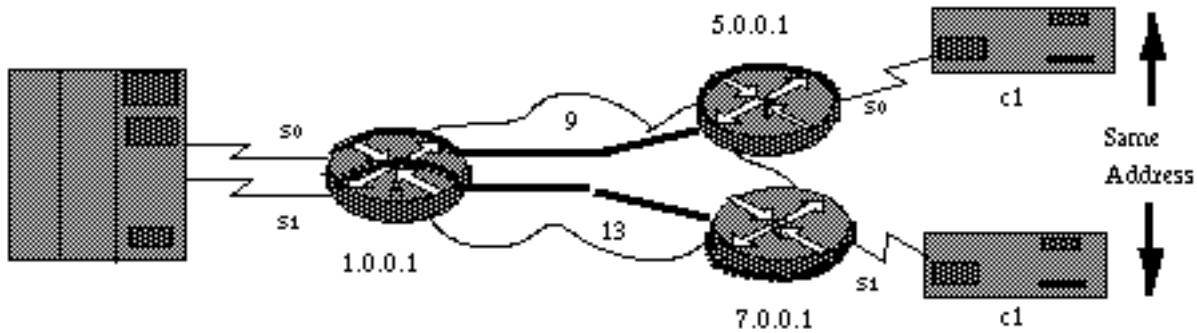
## 設定

このセクションでは、このドキュメントで説明する機能を設定するために必要な情報を提供しています。

注：このドキュメントで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) (登録ユーザ専用) を使用してください。

## ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク セットアップを使用します。



## 設定

このドキュメントでは、次の構成を使用します。

ルータの設定	
ルータ A	<pre>stun peer-name 1.0.0.1 stun protocol-group 9 sdlc stun protocol-group 13 sdlc interface serial 0 encapsulation stun stun group 9 stun route address c1 tcp 5.0.0.1  interface serial 1 encapsulation stun stun group 13 stun route address c1 tcp 7.0.0.1  interface loopback 0 ip address 1.0.0.1 255.255.255.0</pre>
ルータ B	<pre>stun peer-name 5.0.0.1 stun protocol-group 9 sdlc interface serial 0 encapsulation stun stun group 9 stun route address c1 tcp 1.0.0.1  interface loopback 0 ip address 5.0.0.1 255.255.255.0</pre>
ルータ C	<pre>stun peer-name 7.0.0.1 stun protocol-group 13 sdlc interface serial 1 encapsulation stun stun group 13 stun route address c1 tcp 1.0.0.1</pre>

```
interface loopback 0
ip address 7.0.0.1 255.255.255.0
```

注：WAN構成とIPルーティング構成は表示されません（わかりやすくするため）。また、シリアルインターフェイスでは、DCEデバイスによるクロッキングが必要です。STUNインターフェイスのエンコーディング(NRZ/NRZI)は、エンドデバイスエンコーディングと一致する必要があります。ルータのデフォルトはNRZです。

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

[アウトプット インタープリタ ツール \(登録ユーザ専用\) \(OIT\)](#) は、特定の show コマンドをサポートします。OIT を使用して、show コマンドの出力の分析を表示します。

## トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報ははありません。

## 関連情報

- [STUN/BSTUN サポート](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)